

令和5年度特色ある学校づくり推進事業報告書

学校番号(30) 学校名 豊田市立幸海小学校

1 テーマ

ふるさとを知り、ふるさに学び、ふるさとと生きる幸海っ子の育成
—縦割り班での活動を通して、ふるさと学習を深める—

2 ねらい

- (1) 自然環境に恵まれた幸海地区に誇りと希望をもち、ふるさとが大好きな子どもを育てる。
- (2) ふるさとの人々の歴史と生活を体験的に学習する活動を通して、自信をもって生きる子どもを育てる。
- (3) 地域講師やボランティアとのふれ合いから、「人」との結びつきを実感できる子どもを育てる。
- (4) 異学年交流としての縦割り班活動で、それぞれの体験活動で学んだことや感じたことを伝え合い、視野を広げる機会とする。

3 活動内容

- (1) ふるさとの自然から学ぶ
 - ・学区内の自然観察や川遊び・講話等の体験活動「春のふるさと探し」(全校)
 - ・白山川の水生生物・環境調査、体験的活動(4年)
 - ・畑での野菜栽培・と収穫、シイタケの栽培と収穫(各学年)
- (2) ふるさとの歴史から学ぶ
 - ・校区内外の歴史的史跡や施設を探訪する「秋のふるさとウォーク」(3、4、5、6年)
 - ・昔の遊びを地域の方と一緒にを行う体験学習(1、2年)
- (3) ふるさとから視野を広げる
 - ・ふるさと幸海地区のかかわりや風習、人々の生活の様子を学んだり体験したりする。
「秋のふるさとウォーク」(1、2、3学年)

4 成果と課題

- (1) 成果
 - ・ふるさとについて学ぶ体験活動や調べ学習を繰り返し行ったことにより、ふるさとのことを知るとともに、ふるさとを大切にしたい気持ちを高めることができた。学習発表会で、6年生は未来の幸海地区のためのアイデアを提案したり、5年生は米作りを盛んにするための呼びかけをしたりした。
 - ・地域講師や地域ボランティアの方など、いろいろな人とのつながりを感じながら活動できた。縦割り班で活動し、「1年生は初めてだから、幸海地区のことを教えながら行けて、計画を立ててよかった」と充実感を感じられる活動ができた。
- (2) 課題
 - ・見学場所へは、車で移動する必要があるため、タクシーを借り上げて移動をした。バスよりも割安で借り上げられたが複数台となり、手間が増えることがあった。

5 保護者・地域への情報発信の取組実績

- ・学校ホームページや学年だよりで、「春のふるさと探し」「ふるさとウォーク」及び、学年別活動内容を随時紹介した。
- ・学習発表会に地域ボランティアの方たちを招き、保護者や地域の方にも参観していただき、ふるさとについて学んだことを発表した。